

大泉あさひで通信

発行：社会福祉法人 大泉旭出学園 旭出生産福祉園 〒178-0063 東京都練馬区東大泉7-21-32
Tel 03-3925-6166 Fax 03-3925-6169 HP <http://www.asahide.or.jp/>



相模原障害者施設殺傷事件と 施設の建て替え問題を考える

旭出生産福祉園園長

浅井 浩

事件の概略と経過

平成28年7月26日午前2時ごろ、神奈川県立の障害者施設（相模原市）「津久井やまゆり園」において、同園の元職員（26歳）が施設のガラスを割って侵入し、施設の利用者が刺され、19人が死亡、27人が負傷（うち3人は職員）。当日、園には入所者149名、短期入所者8名、計157名の利用者が在園していた。元職員は、逃走した後、津久井警察署に出頭して、自分がやったと自供したこと、建造物侵入並びに殺人未遂で緊急逮捕された。その後、横浜地方検察庁が元職員を殺人罪などで起訴。（神奈川県ホームページ「事件について」）

この事件では、亡くなった19人を悼むとともに、元職員の障害者に対する偏見や優生思想、責任能力や措置入院のこと、再発防止策に関するなどが問題となりました。神奈川県は、施設のほぼ全体が殺傷現場となり、大量の血痕が付着するなどの甚大な被害が及んだことから、施設入所者の家族会や施設職員等の要望を受け、同じ場所に同規模の施設の再建を表明。2020年度の建て替えを目指すとして、県のこの方針に対して、今年1月の公聴会で、一部専門家や障害者関係の団体から「障害者の地域移行という社会の潮流に逆行する」「入所者の意見を聴くべきだ」などの異論が噴出。そこで県は、事件が起きた施設の建て替え方法等につ

いての専門家らの会議を設置しました。

専門家らの会議は、7月18日に「今後は小規模化し、複数の施設を整備するべきだ」との案を出し、現在の園を取り壊した跡地のほか、入所者が仮移転している横浜市港南区の県施設など、複数の場所を選択肢として示した。グループホームなど地域での障害者の生活を重視する現在の国の方針に沿う内容だ。「元のようにしてほしい」と求めていた入所者家族会の大月和真会長（67）は「よその土地に移るなんて考えられない。多くの家族は納得しないはずだ」と話した。（平成29年7月19日 朝日新聞）

県は、これまでと同様の施設の再建構想を示していたわけですが、それとは異なる方向性が示されたこととなります。

施設の建て替えを巡って

障害（者）観も変化し、日本の障害者福祉の施策も施設中心から地域生活中心の施策へと方向転換が示されているところですが、神奈川県は、施設の再建に向けた基本理念を次のように表明しています。

津久井やまゆり園を現在地で再生することによって、事件に決して屈することなく、「ともに生きる社会かながわ」の実現を目指すという強いメッセージをこの神奈川県から発信します。

- ・ 現在地での全面的な建替えによって、事件を風化させるとなく、事件の凄惨なイメージを払拭し、再生のシンボルとして、利用者の人権に配慮しながら、安全・安心で暮らしやすい新しい園を創ります。
- ・ 利用者が、地域生活移行を含めた将来の自立を目指す園にするとともに、地域で生活する障がい者とご家族の生活を支援します。

- ・ 地域住民の皆さまとの交流を一層深め、園や地域で生活

する障がい者への理解を促進します。

知的障害児者の教育や福祉に50年近くかかわってきた立場で私見を述べるとすれば、神奈川県公開資料や入所者やその家族に関する報道内容からは、再建を望む施設利用者の家族の思いや県の施設の再建に向けた姿勢は、理解できるものであり、異論をとなえるより、むしろ受け止めるべきものと考えます。

日本社会の現状を見たとき、本人を支援するにはその家族や施設職員の思いや意見も大切なはずです。

障害の有無に関係なく、誰にとつても、拠りどころとなる生活の場がなければなりません。拠りどころとなる得る場であれば、小規模はよいが大規模はダメだということなどではないはずです。小規模とか大規模という具体的な基準や条件は何でしょうか。

障害者施設が堂々とあり、そこを堂々と利用できるような社会こそがむしろノーマルだといえるのではないのでしょうか。施設も必要な社会資源として積極的に考え、選択肢に含めることができるこそが、いわゆる「合理的配慮」や「共生社会の実現」の問題にも通じるものと考えます。

この度の衝撃的な殺傷事件は、障害者施設の再建をめぐる単純な是非ではなく、障害者施策の現状の諸問題を改めて考え直してみるべき大きなことを投げかけているというように思います。「障害」を一括りにしての施設解体論が最良、最優先のように語られることも問題であり、障害者福祉の施策をめぐるこれまでの論議が、しばしば現状・現実から遊離した展開になりがちであることにも注意を要すると思います。

（日本の「教育と福祉」を考える <http://www.asahi-hiroshi.jp/>）

旅行会

旅行会も平成25年度までは数回に分けて全員同じ場所に行っていました。平成26年度には、みなさんが参加しやすく楽しめる旅行会をと日帰り旅行の組ができました。そして今年度の一泊旅行は群馬（体力や興味に合わせて四つのコースに分かれます）、日帰り旅行を希望された方は奥武蔵国民休暇村のゆつたりのみなさんが楽しめるように計画をしました。

奥武蔵国民休暇村

木々に囲まれた場所で懐石料理の昼食をとり、ゆつたりのんびり過ごしました。

東京スカイツリー

観光名所なので人も大勢いました。眺めを楽しんだ後は、昼食の場所を決めるのにたくさんのお店があつて悩むほどでした。お土産も選んで楽しい一日でした。

群馬旅行

「伊香保グリーン牧場」「渋川スカイランドパーク」「伊香保おもちゃと人形、自動車博物館」「直接ホテル」の中から相談して好きな場所に立ち寄りました。旅先では買い物をしたり、ソフトクリームを



食べたり、ホテルでは露天風呂やサウナ、宴会の食事やカラオケを楽しみました。



納涼会



石神井太鼓保存会「せんば太鼓」

の皆さんにお越しいただきました。



浴衣ギャラリィ

納涼会楽しかったね



新しい寮の仲間



丸山 正伸さん

9月4日から新しく入寮されました。すてきな笑顔で皆を癒してくれます。これからよろしくね！！

昼食会



完食！

10月7日(土)食堂にて昼食会を行ないました。ビュッフェ形式での豪華な食事を堪能しました。

職員研修

8月の職員研修では東京都立心身障害者口腔保健センターの歯科衛生士の方をお招きし、『障害のある人の歯と口の健康を守ろう！介助者によるケア』というテーマで講義をしていただきました。

東京都立心身障害者口腔保健センターは、地域の医療機関では対応が困難なスペシャルニーズのある方に対して、歯科診療、予防、相談、食べる機能や話す機能の訓練を行っています(東京都立心身障害者口腔保健センターホームページより)。

日ごろから数多くのケースに携わっている歯科衛生士の方の経験談やブラッシング等の基本的な口腔ケアの方法を教えてくださいました。

ワンポイント！

歯ブラシの選び方

- ① 大きさ…ヘッドが小さ目
- ② 形…植毛部分がストレート
- ③ 材質…ナイロン、ポリエステル系
- ④ 交換期間…1か月が目安。毛先が広がったら交換。



ただ磨くだけでなく、利用者の方が安心できるような気持ちの良いケアを心がける事、口腔ケアは病氣予防だけでなくQOL(生活の質)の維持・向上に繋がる事などを学び、普段の支援を振り返り考えさせられる機会ともなりました。今回講義いただいた内容を今後の支援に活かしていきたいと思えます。

リフレッシュ体操

園内では日ごろから体を動かし、身体機能の維持・向上や、気分転換を図る機会を様々な形で設けています。

クラブ活動や各科の取組等ありますが、リフレッシュ体操は毎週火曜・金曜の午後にしています。

元々は加齢に伴う転倒等の身体機能低下を食い止める為に始まりました。現在では年齢や身体機能の状態に関わらず希望者が参加しています。

音楽に合わせてボールを送ったり、声を出しながら体を動かしたりと、毎回とても賑やかです。参加されている方の表情もとても良く、職員も一緒に楽しんでいきます。



✿ 工芸展が決まりました!! ✿



日本橋三越本店新館7階
ギャラリーを会場に工芸展を開催します。日程がいつもより早くなっており、工芸部門では追い込み作業に入っています。少しでも良い物が展示・販売出来るようにみんなで頑張っています。

平成30年1月31日(水)～
2月6日(火)



敬老感謝の会

主催 上泉地区町会連合会

敬老感謝の会



「上泉地区町会連合会」主催の『敬老感謝の会』が、食堂で開催されました。福祉園も協賛しており、余興にも参加しました。「青い山脈」の歌を使った体操を披露し、一緒に体操をして下さる姿も多く見られ盛り上がりました。

毎年恒例の行事になり、参加を楽しみにしている利用者さんも多く、地域の方との交流の良い機会になっています。



今後のバザー予定

11月19日(日)

大利根祭(大利根旭出福祉園)

11月23日(木)

勤労感謝祭

(旭出生産福祉園)

12月2日(土)

障害者フェスティバル

(光が丘区民センター)

12月14・15日(木・金)

クリスマスフェア

(三木記念館)

平成30年2月13日(火)

ふれあいバザール(練馬区役所)



後援会ご寄付ご芳名一覧(順不同)

平成二十九年四月〜平成二十九年九月末まで

広報に記載されておりました、寄付を頂いた方のお名前の一覧は、ホームページに掲載するにあたり伏せさせて頂きました。ご了承ください。

『みなさまからの
ご支援ご協力に厚く御礼申し上げます』



大泉旭学園の事業につきましてはご高配を賜り感謝、お礼申し上げます。特色ある独自性を発揮した事業展開とその充実を図っていくためには経営基盤を固めていく必要があります。さらに多くの方々に後援会の会員になっていただきたく、会員の方々にはお知り合いなどにご紹介いただけたら幸いに存じます。

より一層のご支援をよろしくお願い申し上げます。



編集後記

すごしやすい季節になりました。何とか夏を乗り切ったというところです。

ほっとしているところですが、次はインフルエンザなどの感染症対策です。夏の疲れと気温の変化、空気の乾きは危険信号!!

「手洗い・うがい」の習慣が大事ですね。

炊き出し訓練



消防計画のなかで避難訓練だけではなくこのような訓練もしています。いざというときに慌てず行動するために、このようなこともしています。

ご家庭でも災害に対し備えがあります。食料や電池など、期限は大丈夫ですか。